

(3) 2018年(平成30年)1月19日(金曜日)

12月の名迷三言集

弥彦村

◆…一日、弥彦商工会館で開かれた弥彦観光協会の臨時総会。弥彦村からおもてなし広場の運営、管理の委託について審議し、記名投票の結果、賛成多数で観光協会が受託することを決議した。

「おもてなし広場」は、小林豊彦村長が選挙戦の公約に掲げた施策の一つ。村長選のしこりが残る弥彦村議会ではその施策について当初から批判的な意見が相次ぎ、観光協会内でも一部に強硬な反対意見が出ていた。そのため臨時総会の結果も注目され、協会員でもある花井温郎氏(無所属)と本多啓三(無所属)の疑う。

村議二人も出席。質疑では両氏が代わる代わる質疑に遠慮したのか、ほかに問に立ち、小林村長を厳しく追及した。

「おもてなし広場」は、始まるから、そのときに話させてください」と述べた。

二人の熱のこもった質疑に遠慮したのか、ほかの会員から質問が出なかったが、それらの質疑を受けて発言を求めたのが鈴木権宮司邸オーナーで、新潟市在住の鍋島紘一さん。「(新潟市と比較して)これだけ財産のある弥彦は恵まれている。ところが、三條新聞や『財界にいがた』からもあそばされて、悲しくなる」と嘆いた。

観光協会が委託が決定したためか、神田会長が呼びかけたためか、十二月定例会では、おもてなし広場の管理などについて定めた条例の制定は全会一致で可決。花井村議は条例の制定で賛成討論を行って、おもてなし広場の成功にエールを送った。

「どちらとしてはもてあそばせているつもりはないが、おもてなし広場をめぐる対立する状況が、村外から面白おかしく見られていることに対する発言。最後は「努力してプラス思考でやっていきませんか」と賛同を呼びかけた。

つて驚いたが、十二月議会での話が出ると思うので、そのときは花井さん、本多さんもぜひよろしくご協力願いたい」とあいさつ。

◆…七日から十八日まで開かれた十二月定例会。八日の一般質問では、本多啓三氏が指名停止裁判、木質バイオマス発電などについて、小林村長を執ように追及したが、意見が一致する質問もみられた。



480人が出席して盛大に開催し

度、予算編成については「厳しい姿勢で臨むつもり。ふるさと納税、競輪はなしと判断している」と保留したが、本多氏は十分満足したのか、それ以上、追及することはなく、質問は終わった。

フランス料理 Brasserie Noire
ブラッスリー ノワ
ランチ 好評営業中!!
11:30~14:30(ディナーは18:00~23:00)
三條市本町2-12-5 電話 34-0888
結婚記念日や誕生日、大切な記念日にぜひディナーをご予約ください